

# みちしるべ

M i c h i S h i r u B e

33人の議員による真摯な議論をわかりやすくお伝えします。



- ◆ 持続的な市政の発展と 市民生活のさらなる向上 P2
- ◆ 常任委員会 こんなことが話し合われました P10
- ◆ 一般質問 市政のここが聞きたい P14

3月 定例会

▲授業で使用した山形市議会報「みちしるべ」を手に笑顔の大曾根小6年生の皆さん（平成29年度卒業） ※内容については20ページをご覧ください



# 市民生活のさらなる向上を

一般会計942億円をはじめ、  
総額1,852億円の平成30年度当初予算を可決

## 主な新規事業

### 【動物愛護施設整備事業】 3億5,383万円

平成31年4月の中核市への移行に向けて、犬・猫の保護収容施設の機能を備えた（仮称）山形市動物愛護センターを整備します。



### 【保健所設置事業】 2億1,060万円

平成31年4月の中核市への移行に向けて、（仮称）山形市保健所を霞城セントラル内に整備します。



### 【（仮称）売上増進支援センター設置及び運営事業】 3,999万円

（仮称）売上増進支援センターを設置し、中小企業の売上増進や販路拡大を図ります。



### 【外国語指導助手の増員配置事業】 1,497万円

小学校で新たに実施される外国語・外国語活動の学習を支援するため、外国語指導助手4人を配置します。



# 持続的な市政の発展と



▲保健所が設置される霞城セントラル

当初予算審査の中から、いくつかの質疑を取り上げ、内容を要約してお伝えします。

### 保健所設置事業

2億1060万円

霞城セントラル内への保健所設置に向けた改修工事を行うとともに、備品購入などの準備を行います。

**委員** 中核市への移行にあたり、獣医師は確保できる見込みなのか。または、県から協力を得る形になるのか。  
**保健所準備課長** 保健所で3

人、食肉衛生検査所で15人の獣医師が必要となる。現在、平成29年度から市の獣医師1人を、県の食肉衛生検査所に派遣している。また、29年度中にも新たに獣医師を確保できたため、30年度から村山保健所と県の食肉衛生検査所に追加派遣する予定である。当面は、**県から支援をしてもらいながら、計画的に獣医師を採用していく。**

### 医療的ケア児受入促進事業

195万円

医療的ケア児へのサービスを安定して提供できる体制づくりへ支援を行います。

**委員** 事業の概要はどのようなものか。  
**障がい福祉課長補佐**

医療的ケアを必要とする子どもを長時間受け入れる体制が整っている放課後児童デイサービス事業所に対し、**営業時間を延長して受け入れる場合の看護師の人件費を補助し、医療的ケア児の受け入れを促進するものである。**

### タブレット導入モデル事業

560万円

教育のICT化を推進するため、小・中学校へのタブレット導入に向けたモデル事業に取り組みます。

**委員** モデル校はどのように決定するのか。

**学校教育課長** 各小・中学校から**希望をとり**、複数校から希望があれば、**教育委員会**で審査し、決めることになる。

### 仮称売上増進支援センター設置及び運営事業

3999万円

中小企業の売上増進や販路拡大を図るため、仮称売上増進支援センターを設置し各事業者の相談に応じます。

**委員** センター設置までのスケジュールはどうか。

**雇用創出課長** 平成30年4月中旬から1カ月程度公募を行い、一次・二次審査を経てセンター長を決定する。その後、富士市産業支援センターに派遣し、研修を行い、**30年12月の開設を想定している。**

### 仙山圏交通網整備事業

299万円

仙山圏の一体的な発展に向けて、仙山線と仙山圏道路網に関する勉強会を開催するなど、仙山圏交通網整備に関する調査研究などを行います。

**委員** 平成29年度当初予算への附帯決議を重く受けとめ、議会にも適宜説明をすることにも、市民の機運醸成などのソフト面も含めて、できるだけ早く整備計画を示してほしいと思うがどうか。

**企画調整課長** 仙山交流に向けた交通網の整備は、市の最も重要な政策課題だと捉えている。できるだけ早く整備計画を示せるよう努めているが、**相手があることであるため、事務的な協議を行いながら慎重に進めている。**30年度は、道路網の勉強会の開催も考えているが、まずは、関係機関から参加してもらえるかが課題であり、慎重かつ丁寧な取り組みが必要であると考えている。今後は、これらの状況を、**随時、議会に報告**していきたい。

台南市との交流事業

464万円

台南市との交流を促進するため、台南市の中学生硬式野球チームを受け入れるとともに、台南市へ経済・市民訪問団を派遣します。

**委員** 平成29年度は台南市へ中学生硬式野球チームを派遣したが、30年度はどのようなことを考えているのか。  
**国際交流センター所長** 29年度に参加した3チームを中心に、台南市の中学生硬式野球チームを受け入れ、交流試合を行いたい。

伝統工芸産業後継者育成支援事業

370万円

伝統工芸産業の活性化と後継者を育成するため、学生と職人の交流事業などの支援を行います。また、新たに、後継者が不足している業種を対象にした、修業者への給付金制度を創設します。

**委員** 伝統工芸産業修行者支援給付金の具体的な内容はどのようなものか。また、計上された給付金150万円は、何人分を想定しているのか。  
**山形ブランド推進課長** 伝統



▲台南市で開催された台南市巨人杯国際青少年野球大会

工芸産業の中でも、特に後継者がいない零細な業種で、早急に技術の伝承や後継者の育成に取り組む必要がある**和傘・漆・のこぎり・特技術工の4業種が対象**である。技術の習得に取り組み、将来的に事業継承、または市内での独立を目指す修業者に対して、**生活基盤の安定を図ることを目的に給付金を支給**するもので、平成30年度は1人分を想定している。

ごみ集積所設置補助事業

480万円

ごみ集積所の環境衛生の向上を図るため、町内会の意向をあらかじめ確認し、ごみ集積所の設置などに対して補助を行います。

**委員** ごみ集積所設置等補助金の予算を増額しているが、補助の対象は何件くらいか。  
**ごみ減量推進課長** 平成29年度は51件の補助を行ったが、30年度は**新規の116件**を対象としている。また、災害による破損などの**緊急対応用に6件分程度**を確保している。

防災ラジオ配備事業

2081万円

防災ラジオを浸水想定区域内の町内会や自主防災会などへ配布するとともに、当該区域内の小・中学校に屋外拡声器を設置します。

**委員** 屋外拡声器は、今後も継続して配備していくのか。  
**防災対策課長** **ハザード地区**を対象に、平成29年度は山寺小・中、滝山小に配備してお



▲補助事業を活用して改修されたごみ集積所

り、30年度は大郷小、南山形小、第七中に配備する。現在、**市内全域に配備する考えはない**が、屋外拡声器の有効性が確認できた場合には、検討が必要になる。

免許返納者タクシー券支給事業

319万円

高齢者の外出を支援するため、70歳以上の運転免許返納者を対象にタクシー券を支給します。

**委員** 事業の内容はどのようなものか。  
**長寿支援課長** 平成30年度以降に運転免許証を返納した70

歳以上の方へ、**5000円のタクシー券を1回支給**するものである。対象人数は、平成28年の市内の70歳以上の免許返納者約600人と同数を見込んでいます。

**委員** 高齢者外出支援事業シルバー定期券助成と、タクシー券支給事業は同時に受けられるのか。また、返納した翌年度以降もタクシー券の支給事業を利用できるのか。  
**長寿支援課長** シルバー定期券を利用している方は**対象から除外**され、タクシー券は**返納後の1回のみ支給**となる。それ以降は、福祉有償運送などの取り組みを広げることで対応していきたい。



▲山形の豊かな気候で育まれたシャインマスカット

ふるさと納税推進事業  
8億9183万円

特産品のPRと地場産業の振興を図るとともに、より魅力的なお礼の品の充実を図り、目標とする寄付金の確保に取り組みます。

**委員** 複数のポータルサイトを活用し、寄付の増加に努めたいとのことだが、経費も増えるのか。

**山形ブランド推進課長** ポータルサイトへの掲載手数料は、事業者によって違いがあり、経費はこれまでと比べ、若干増えるが、複数のポータルサ

イトを活用することで寄付の増加が見込めると考えている。なお、これまでふるさとチョイスの運営事業者に全ての業務を一括して委託していたが、複数のポータルサイトを活用することに伴い、返礼品の発注業務は、地元事業者の活用を検討している。

公共交通利用促進対策事業  
2945万円

生活交通の確保と地域活性化に向けたコミュニティバスの運行や、バスの利用促進に向けた事業を行います。

**委員** 高齢者の生活交通の確保は切実な課題である。公共交通を充実してほしいという声に、今後、どう応えていくのか。

**企画調整課長** 地域包括支援センターや地区から、さまざまな話が来ているが、地区によってニーズが異なるため、地域の人と十分に議論していきたい。また、福祉部門と十分に連携して進めていきたい。

保育士宿舎借り上げ支援事業費補助金  
1579万円

保育士の確保に向けて、民間立保育所などの事業者が、宿舎を借り上げる費用の一部を補助します。

**委員** 保育士不足を解消するための事業だと思いが、永続的な事業なのか。また、どのくらいの利用者を見込んでいるのか。

**子ども保育課長** 保育士不足が解消されるまでをめぐとしており、民間立保育所が8園で19人、認定こども園が5園で11人、総数30人と見込んでいる。

保育士トライアル制度補助金  
234万円

保育士の確保に向けて、潜在保育士を短期間雇用し実務研修を行う場合に補助を行います。

**委員** どの程度の利用を見込んでいるのか。

**こども保育課長** 民間立保育園12園、認定こども園8園から利用したいとの希望がある。

除雪車運行管理システム導入事業  
2700万円

除雪車の運行管理や市民への情報提供を目的に、インターネットを利用した除雪車運行管理システムを導入します。

**委員** どのようなシステムを導入するのか。また、どのような効果があるのか。

**道路維持課長** リアルタイムに除雪車の運行状況を把握することが可能となり、除排雪の効率化や、市民への作業状況の情報提供など、市民サービスの向上が期待できる。

**委員** 寒河江市では、要介護の独居高齢者宅前にできるだけ除雪した雪を置かない、思いやり除雪を始めているが、システムを導入することで、同様の対応が可能になるのか。

**道路維持課長** 本市の場合、同一要件では相当な世帯数となり、除雪延長も長く、除雪時間が大幅に伸びることが想定されるため、一斉除雪での対応は難しい。

空き家等対策推進事業  
2289万円

空き家バンクの利用を促進し、老朽危険空き家などの除却や、市街化区域における優良な宅地創出に向けた空き家の除却に支援します。

**委員** 空き家にさせない施策も必要ではないか。

**管理住宅課長** 所有者の意向も確認しながら、関係部署と情報交換などを行い、連携を密にして対応していきたい。



▲除雪車運行管理システムを導入し雪に強いまちづくりを目指す

農地集約化・本作物支援事業  
2億1529万円

農業経営の安定化と食料の安定供給を図るため、転作物への助成による団地化の推進のほか、法人などが行う農業機械導入への支援や、農地情報システム開発などへ支援します。

**委員** 農地情報システム開発支援事業の具体的な内容はどのようなものか。

**農政課長** 主に水田を対象とした事業で、農地の集約化に向けて、農地情報を可視化するため、現在、山形農協が進



▲創造都市の拠点として活用を検討している旧第一小学校

めようとしていたシステム開発に対し補助するものである。なお、農地情報は農業委員会から提供を受け、山形市農業振興協議会で運用し、活用することを考えている。

創造都市推進事業

1000万円

文化によるにぎわいを創出するため、ユネスコ創造都市ネットワークへの加盟が認定された映画分野を基軸とした創造都市の推進を図ります。

**委員** 創造都市の拠点として旧第一小の活用を検討することだが、歴史的建造物を活用するに当たり、支障はないのか。

**文化振興課長** 旧第一小は、登録文化財であることから、外観を変えられないなどの制限があるが、登録文化財の価値を前面に出したリノベーションをコンセプトに改修計画を進めていきたいと考えている。

教職員働き方改革推進事業  
295万円

教職員の部活動指導に係る負担の軽減と、部活動の質的な向上を図るため、中学校に部活動指導員を配置します。

**委員** 中学校への部活動指導員の配置方針は定まっているのか。

**学校教育課長** 現在、県と準備を進めており、身分は特別職の非常勤職員で、教育職員免許、日本体育協会などの認定の指導者資格、学校の部活動や地域スポーツ活動の指導経験などを有する者のうち、**学校長がふさわしいと判断する者**と考えている。また、県では、勤務時間を年間上限210時間、週3日、1日2時間と想定しており、2分の1の中学校に配置する予定であるため、本市は**7、8校が対象**になると考えている。

**委員** 就業の縛りはあるのか。  
**学校教育課長** 現在の職業と部活動指導員を兼務できる方と考えており、**就業の縛りは設けない**方向である。

はながたベニちゃんの 教えて!! 議会あれこれ



はながたベニちゃんの

教えて!!

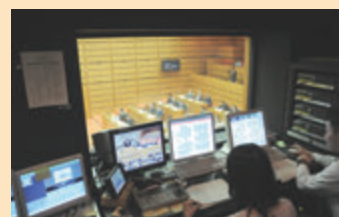
議会あれこれ

Q

本会議の中継はどこで操作してるベニ?

A

本会議場には、中継用のカメラが3カ所に設置されていて、会議の進行に合わせて本会議場を見渡せる録音室でカメラの操作をしているよ。山形市議会のホームページでインターネットによる生中継・録画中継を配信しているから視聴してみてね!



▲録音室でのカメラ操作の様子

水道事業会計

90億1194万円

安全で良質な水道水の安定供給のための業務や、老朽配水管の耐震化工事などに要する経費です。

消防団員処遇改善事業

1億742万円

若年層の報酬と災害防衛活動に対する費用弁償の引き上げを継続して行い、消防団員の処遇改善を図ります。

**委員** 消防団員への費用弁償の支給方法は、平成30年度から見直していくのか。

**消防本部総務課長** 30年度から**実費支給に改善**していきたく。

**委員** 平成30年度から包括業務委託が始まるが、上下水道部の職員が行うべき業務をどう考えているか。  
**上下水道部長** 収納業務などにおいて、停水業務などの職員が最終判断すべき業務は、職員が行っていく。



▲医師や看護師などが24時間365日相談に対応

ンは、**意思決定の過程**での会議資料のため開示できないとのことであった。しかし、30年4月から前立腺がんや頭頸部のがんに対する重粒子線治療に、保険が適用される見通しがあるため、再度、**収支の見込みを立て直す**と聞いている。その際には、公金が寄付されている点、また、市民へ説明が必要な点を考慮し、**情報を公開してもらえ**るよう依頼している。

**委員** ステッカーを貼るなどの周知に努めているが、平成30年度はどのような周知・広報を考えているのか。  
**通信指令課長** ステッカーは、公共施設などのトイレに貼り付けている。30年度は**名刺サイズのカード**をつくり、市民が利用しやすい場所への設置や、**母子健康手帳の交付の際に配布**する計画である。

けがや病気の不安を解消するための電話相談を24時間365日実施します。

24時間健康・医療相談  
サービス事業 1202万円

**委員** 平成30年度も山形大学に1億円を寄付するが、山形大学からは収支などのシミュレーションの情報提供は行われているのか。  
**健康課長** 平成29年5月の新聞報道後、山形大学に対して電話や訪問による情報開示などの依頼を10回以上行っているが、収支のシミュレーションは、**意思決定の過程**での会議資料のため開示できないとのことであった。しかし、30年4

山形大学医学部が研究開発を進めている重粒子線によるがん治療照射装置の整備に対して支援します。

次世代型医療用重粒子線照射  
装置施設整備支援事業 1億円

次世代型医療用重粒子線照射装置施設整備支援事業について、次の点に十分留意した対応を求める。

- 1 患者数の推計や医療ツールズム・医療インバウンド等における計画や目標値、費用対効果や収支シミュレーション等について、積極的に情報収集を行うこと。
- 2 市は得た各種情報の開示を行いながら、状況の変化や今後の関わり方について一層検討・協議を進め、的確な事業の推進と予算の執行に努めること。

◆予算委員会において、平成30年度山形市一般会計予算が可決された後、同予算に対する附帯決議案が提出されました。提案者の説明を受けた後、採決した結果、賛成多数で可決されました。

附帯決議（要旨）

**委員** 債務負担行為による5億円の支出には賛成したが、成果の見通しが立たない場合は、寄付をやめてもよいと思うがどうか。  
**市民生活部長** 現時点では、診療開始に当たって**成果が望めないような事態ではないと判断**しており、現行のまま推移を見守っていきたい。

## 議員研修会を開催

平成30年2月13日に、三重県地方自治研究センター上席研究員の高沖秀宣氏<sup>たかおきひでのぶ</sup>を講師に迎え、「今後の議会改革－議会基本条例の検証を踏まえて」をテーマ



▲活発に意見交換を行った議員研修会

に山形市議会議員研修会を開催しました。

はじめに、議員選挙の無投票当選割合の増加や議員のなり手不足、議員定数の削減などによる議会の劣化現象、高知県大川村における議会に代わる「町村総会」設置の検討など、自治体議会の現状について解説がありました。

また、山形市議会でも制定している議会基本条例の実践や検証をはじめ、国の「議院内閣制」とは異なる地方自治体における「二元代表制」の追求による議会の強化や改革を行い、執行機関への質問だけでなく、議員同士の討議を中心とした議会運営など、監視型議会から政策提言できる議会への変革が求められていることなど、具体例を示しながら、ご講演いただきました。

市民生活に直結する  
補正予算を可決

補正予算審査の中から、いくつかの質疑を取り上げ、内容を要約してお伝えします。

生活バス路線維持費補助金  
3257万円

生活バス路線の赤字分をバス事業者へ補助します。

委員 平成29年度の補助対象路線は12路線とのことだが、

ここ数年の推移はどうか。  
企画調整課長 バス路線は市内に53路線あり、国と県が補助している赤字路線が13路線、市が補助している赤字路線が12路線で、残りの28路線が黒字となっている。赤字路線はここ数年11、12路線で推移している。

委員 赤字路線を減らすため、地元の要望などを十分に聞いた上で、山形市公共交通活性化協議会で路線変更などの議

3月の主な補正予算  
一般会計 22億6,688万円

- <主なもの> (千円以下切り捨て)
- 小学校校舎改築事業 (千歳小) ..... 11億2,611万円
  - 中学校空調設備改修事業 (第一中・第八中・第九中・第十中・金井中・蔵王一中) ..... 5億473万円
  - 除排雪等委託料 ..... 4億7,600万円
  - 小学校トイレ改修事業 (西小・出羽小・東沢小・滝山小・本沢小) ..... 1億8,995万円
  - ふるさと納税推進事業 ..... 8,058万円
  - 地籍調査事業 (浸水想定区域：楯山地区 (青柳・新開)、南沼原地区 (沼木・中沼など)) ..... 3,572万円

論をすべきではないか。

企画調整課長 ここ数年、みはらしの丘や菅沢、八森などは、地元からの要望を受けて路線変更を行っている。今後も、地区からの要望があれば、路線変更に向けた具体的な話を進めていきたい。

地籍調査事業

3572万円

平成30年度に予定していた調査区のうち、浸水想定区域に該当する5調査区を前倒しで実施します。

委員 このたびの国の補正予算は一時的なものなのか。それとも、恒常的に優先度を決めて地籍調査を実施していく方針なのか。

地籍調査室長 国における予算の確保が難しいことから、近年は、補正での対応となっている。国では中長期的な地籍整備の推進に関する検討が行われており、優先地域など戦略的な整備の方向性が示される動きがあることから、今後の動向を注視し、市の計画の見直しも併せて検討していきたい。

山形広域環境事務組合負担金  
△1億1341万円

平成28年度繰越金の確定などに伴う予算の減額です。

委員 エネルギー回収施設立谷川の売電の状況はどうか。

ごみ減量推進課長 ごみ質が計画値より低質であったことから、ごみ焼却時に発生する熱量が低く、売電量が少なかった。今後、詳細な原因を調査していく。

町内会等除排雪対策事業  
500万円

生活道路などの除排雪作業を実施する町内会などに支援するための予算を増額します。

委員 幹線道路や通学路などは市で除排雪を行うなど、市と町内会で除排雪する場所を住み分けして実施すべきと思うがどうか。

広報課長 平成29年度のように



▲平成29年10月に本格稼働したエネルギー回収施設立谷川

な豪雪の場合には、幹線道路は道路維持課を中心に、生活道路は道路維持課を補完する意味で町内会が、市の報償費を活用しながら実施している。

委員 町内会での除排雪にはスピード感が求められている。費用の支払いなどの問題で、町内会が申請を思い悩むことがないよう、申請方法などの工夫改善に努めてほしいと思うがどうか。

広報課長 平成27年に支給方法などの見直しを行い、概算払いや事後申請もできるようにした。今後も町内会からの意見を聞きながら、工夫して実施していく。





▲寄付者から好評を得ているフルーツ先行予約のさくらんぼ

**委員** フルーツの先行予約に当たり、提供事業者から出荷数を確保するのが大変であるなどの話は出ていないか。また、農産物は天候に左右されると思うが、確実に準備できるのか。  
**山形ブランド推進課長** 直接そのような話は聞いていない。農産物は天候などに大きく影響するため、提供事業者などと十分に協議を行いながら、天候が不順でも、**確実に準備できる箱数を確保**している。

フルーツ先行予約などにより寄付額が増えたことから、予算を増額します。

**ふるさと納税推進事業**  
8058万円

**委員** 改修は、整備計画通りに進んでいるのか。  
**教委管理課長** このたびの前倒しでの実施により、**整備計画通りに進んでいる**状況となる。

平成30年度に予定していた6校の空調設備の改修を、前倒しで実施します。

**中学校空調設備改修事業**  
5億473万円

**小学校トイレ改修事業**  
1億8995万円

平成30年度に予定していた5校のトイレ改修を、前倒しで実施します。

**委員** 小学校トイレ改修事業の進展状況はどうか。また、未改修の学校は何校残っているのか。  
**教委管理課長** 平成26年度に4校、28年度が2校、29年度は11校の改修を行った。今後は、このたびの補正予算による5校と、**31年度に予定している5校で完了**する計画となっている。

**委員** 今回の補正では、どのくらいの交付件数を想定しているのか。  
**長寿支援課長** これまで豪雪対策本部が設置された過去5回の実績に基づき、雪下ろしを**140件**程、間口処理は**70件**程を見込んでいます。

平成30年2月28日時点で、雪下ろしの交付決定が**36件**、審査中が**12件**で、間口処理は審査中が**1件**となっている。

**委員** これまでの交付実績はどのくらいか。

豪雪対策本部の設置に伴い、一定の基準のもと、高齢者などの世帯が、屋根の雪下ろしや間口に残った雪の処理を行う場合に補助するための予算を増額します。

**高齢者、心身障がい及び母子世帯雪下ろし等補助金** 349万円

今後の降雪に備えるため、予算額を増額します。

**除排雪等委託料**  
4億7600万円

今後の降雪に備えるため、予算額を増額します。

**委員** 除雪回数が多い山間地域では、どのように業者を配置しているのか。  
**道路維持課長** 山間地域では、**相応の機械を有している57業者**で対応しており、**全体では100業者に委託**をしている。このたびは、山間部の稼働と同様、市街地でも路面整正を含む除排雪などに、相当多く出動してもらっている。

**委員** 雨水管渠整備事業の計画に対する進行状況はどうか。  
**雨水施設建設室長** 平成29年度末の面的整備率の見込みは約**30・4%**であるが、**主要な管渠の整備延長における整備率は約81・6%**と順調に整備が進んでいる。今後は、接続する枝管を整備する方針で、浸水被害が起きている地域を優先的に整備していく。

平成30年度に予定していた浸水被害を軽減するための雨水管渠整備を、前倒しで行います。

**(公共下水道事業会計)**  
**雨水管渠整備事業** 2億円

## 6月定例会の日程 (予定)

6月14日(木)  
～6月29日(金)

日程は変更になる場合があります。  
詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

☎023(642)8404

総務 厚生

産業文教 環境建設

## 4つの委員会で

# こんなことが話し合われました!!

保健所設置工事の  
請負契約を締結



くらし

**委員** 霞城センターへの保健所設置に伴う駐車場不足が指摘されてきたが、駐車場は不足しないと考えているのか。  
**中核推進課長** 霞城センターの立体駐車場と東口交通センター駐車場で足りると想定している。県の新文化施設の建設などもあるため、保健所までの動線も含め、市民に不便や混乱を来たさないよう配慮していく。

**委員** 中核市に移行後のガバナンス体制をどのように考えているのか。また、連携中核都市圏の位置付けはどうか。  
**中核推進課長** 中核市移行の大きな目的は、市民福祉の向上、魅力あるまちづくり、圏域のリーダー的役割を担うことである。中核市移行がゴールではなく、健康医療先進都市の礎を築きながら魅力あるまちづくりを進めるため、今後、全面的な検討や住民への丁寧な説明を行っていく。

住民基本台帳カードを利用した自動交付機による証明書などの交付サービスを廃止

**委員** 住民基本台帳カードの有効枚数はどのくらいあるのか。また、自動交付機による証明書発行枚数は年間どのくらいあるのか。

**市民課長** 住民基本台帳カードの有効枚数は、平成30年2月末で約4500枚となる。また、自動交付機の利用件数は、29年1月から12月で約1000件あり、住民票の写し、印鑑登録証明書の発行枚数は全体の約0・5%となっている。なお、自動交付機の利用登録をしている住民基本台帳カードのうち、自動交付機が廃止になる31年1月以降も有効な枚数は約1850枚となる。

**委員** サービスが利用できなくなることをどのように周知するのか。  
**市民課長** 30年6月頃に、31年1月以降も有効な住民基本台帳カードの所持者に対し、個別通知をするほか、広報やまがたやホームページへの掲載など、周知漏れがないよう努めていく。

福祉

介護保険第1号被保険者の平成30年度～32年度介護保険料を設定

**委員** 保険料を据え置くことはできなかったのか。  
**介護保険課長** 高齢化に伴い、認定者の増加による介護給付費の増加が見込まれるため、保険料を引き上げざるを得なかったが、基金の取り崩しにより150円ほど上昇を抑えている。

**委員** 保険料の負担が大きく、引き下げを望む声もあるがどうか。

**介護保険課長** 現在の第6期介護保険事業計画で基金残高が4億5000万円程度となったため、一部を取り崩して、第7期介護保険事業計画の保険料に充当する軽減策を行っている。

**委員** 保険料の段階区分を9段階以上に増やし、本人の支払い能力に応じた負担とすべきではないか。  
**介護保険課長** 各段階の所得割合は、おおむね国と同じ状況であり、多段階化しても保険料を大きく引き下げる効果はないと認識している。



▲平成30年12月末で撤去となる自動交付機

※ ガバナンス…統治。管理。また、そのための機構や方法。



▲さらに利用しやすい公園を目指し、民間活力の導入を検討

## 環境・衛生

汚染土壌処理業の譲渡などに係る承認申請手数料を設定

**委員** 汚染土壌処理業の譲渡などに係る承認申請の手数料を新たに定めるとのことだが、内容はどのようなものか。

**環境課長** これまでは、事業の認可や譲渡などがあった場合は、市の許可が必要だったが、土壌汚染対策法の一部改正に伴い、**市の承認により、地位の承継ができるようになった。**

## まちづくり

**※1** Park-PFI導入による公募対象の公園施設建設べい率の特例を設定

**委員** 民間活力を導入する公募設置管理制度Park-PFIの活用は、どの公園を考えているのか。

**公園緑地課長** 広域的な利用者の集客・収益などを考慮し、現在でも来園者の多い、**大規模な公園での活用を想定している。**

## 市街化調整区域内への産業系建築物の建築規制を緩和

**委員** 産業団地周辺での区域の線引きが明確に行われているが、開発行為による立地の促進が図られるよう、その道路のそばや近辺の場所も認めるようにしてはどうか。

**都市政策課長** このたびのゾーニングは、農振法などの規制がある

中、市長の権限で指定が可能な土地で、**最大限確保できる区域を設定したものである。**

**委員** 四つの区域のゾーニングの考え方はどうか。

**都市政策課長** これまで、市街化調整区域では、事務所などの新規の立地は難しかった。今回、周辺のインフラ整備の実情などを勘案し、**立地が可能な用途でゾーニングしたものである。**

## 農林・水産

### 農業戦略推進基金の設置で農業振興を推進

**委員** 農業振興のために、これまで山形市農業振興公社へ出資していた10億4500万円の使途はどうなるのか。

**農政課長** 山形市農業振興公社へ出資していた10億4500万円のうち、**4億円を農業戦略推進基金に、残りの6億4500万円は財政調整基金に積み立てる。**なお、農業戦略推進基金に不足が生じた場合には、財政調整基金から繰り入れする予定である。

**委員** 山形市農業振興公社への出資の目的を考えれば、**全額を農業戦略推進基金に積み立てるべきである。**農業戦略本部の中で、**農業戦略推進基金について丁寧な話し合いは行われたのか。**

**農政課長** 本市と山形市農業協同組合、山形農業協同組合は、山形市農業振興公社の社員であり、両組合長は農業戦略本部の構成員になっている。また、山形市農業振興公社の幹事会などには農業委員会会長が入っており、そのような構成の中で話し合いを続けてきた結果、**今回の基金設置に至っている。**今後、農業戦略本部で、山形市農業振興公社のあり方や運営について、話し合いを進めていきたい。

**委員** 山形市農業振興公社は市農業研修センターの指定管理者となっているが、指定管理者として業務を続けることに支障はないのか。

**農政課長** 山形市農業振興公社には、本市から運営費の補助金が支出されており、今後の運営において、懸念されることはないと考えている。

## 中核市移行検討 特別委員会

3月定例会では、山形市獣医師職員確保プランについて報告がありました。

報告に対し、委員から、中核市への移行後も継続して獣医師職員の確保に向けて取り組む必要がある。採用に当たっては、世代のバランスや構成なども考慮する必要があると思うが、採用・採用内定者の年齢構成はどのようなになっているのか、との質問がありました。

担当課から、他自治体を経験した獣医師を含め、年齢構成は20歳代から50歳代となっている。今後も、大学へのアプローチや情報収集などを行いながら、獣医師の確保に努めていく、との回答がありました。

報告の後、今後の調査・研究項目についての意見交換が行われました。また、3月19日の本会議において、委員長より、平成29年6月30日から30年3月18日までの活動状況についての中間報告が行われました。

※1 Park-PFI…公募設置管理制度。園路、広場などの整備を一体的に行うことを条件に、都市公園内において飲食店、売店などの公園施設の設置・管理を行う民間事業者を公募により選定する制度。  
※2 ゾーニング…区分すること。都市計画などで各地域を用途別に区画すること。

## 人事案件

### 教育委員会委員の任命に同意

同意

教育委員会委員のうち、1人の任期が3月31日で満了することに伴い、引き続き無着氏の任命について全会一致で同意しました。

無着 道子氏

### 固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

固定資産評価審査委員会委員のうち、1人の任期が3月31日で満了することに伴い、次の方の選任について全会一致で同意しました。

峯田 典明氏

### 人権擁護委員の候補者の推薦に同意

人権擁護委員のうち、4人の任期が6月30日で満了することに伴い次の方の推薦について全会一致で同意しました。

安部 信雄氏  
 勝見 祐子氏  
 金澤 孝治氏  
 鈴木 洋子氏

とができると定めており、新制度による避難区域内外の支援格差が生ずることは、法の趣旨からして許されるものではない。

よって、国及び福島県においては、避難区域内避難世帯に対して、東京電力が50億円を拠出して実施する新たな家賃支援策について、区域内、区域外を問わず支援するよう強く要望する。

### 種子法廃止に伴う万全の対策を求める意見書

昨年の通常国会で主要農作物種子法（種子法）廃止法が成立した。

種子法は、国や都道府県の種子に対する公的役割を明確にした世界に誇るべきものであり、農民の生産・販売活動に大きな役割を果たしてきた。

主要農作物種子法の廃止により、試験場等の取り組みが後退することがないように、万全な対策が求められるとともに、地域の共有財産である「種子」を民間企業に委ねた場合、農家は特許料を払わなければ種子が使えなくなることが強く懸念されている。

農家の生産意欲と品質向上への努力に大きな役割を担う

請 願		件 名	紹介議員	所 管 委 員 会	結 果
		提 出 者			
請	第1号	新規 区域内避難者への東電拠出の50億円の家賃賠償の新制度を区域外避難者へも拡充することを国に求める意見書の提出に関することについて 山形地区平和センター 議長 小野祭樹	今野 誠一 佐藤 秀明	総 務	採 択
	第2号	新規※ 種子法廃止に伴う万全の対策を求めることについて 山形地方農民連 会長 吉田吉弘	阿曾 隆 川口 充律	産業文教	採 択

(※印は意見陳述が行われたものです。)

●議決の結果は、13ページ「議案の賛否一覧表」をご覧ください。  
 なお、請願第1号は、全会一致で採択されました。

## 意見書(要旨)

3月定例会で可決された意見書は2件です。いずれも関係機関に送付しました。

### 区域内避難者への東電拠出の50億円の家賃賠償の新制度を区域外避難者へも拡充することを求める意見書

東京電力福島第一原発事故から7年を迎えたが、今なお、多くの被災住民が避難生活を

余儀なくされている。

平成23年3月に発令された「原子力緊急事態宣言」は解除されておらず、事故の収束の見通しも立っていない。また、放射能による健康不安から、帰還を希望する避難者が増えるに安心して帰ることが出来るまでには、まだ時間がかかるものと思われる。

平成24年6月に成立した「原発事故子ども・被災者支援法」では、被災者一人ひとりが居住の継続、避難や帰還の選択を自らの意思で行うこ

とができると定めており、新制度による避難区域内外の支援格差が生ずることは、法の趣旨からして許されるものではない。

よって、国及び福島県においては、避難区域内避難世帯に対して、東京電力が50億円を拠出して実施する新たな家賃支援策について、区域内、区域外を問わず支援するよう強く要望する。

## 請願の処理状況(要旨)

平成29年9月定例会で採択・送付した請願、「動物愛護推進員制度の導入・委嘱に関することについて」および、29年12月定例会で採択・送付した請願、「猫の不妊手術助成金制度の創設を求めることについて」に対する処理状況などについて、市長から次のような報告がありました。

◇動物愛護推進員の委嘱に向けて人数及び選出方法等の検討を行います。

◇動物愛護センター業務開始後の状況を勘案したうえで、殺処分ゼロに向けた施策の一環として制度の創設を検討します。



# 市政のことが聞きたい



一般質問とは 議員が、市政全般にわたる事務の執行状況や政策方針について、市長や担当する各部長などに質問することです。3月定例会では、2月27日と28日の2日間で8人の議員が質問を行いましたので、主な質問を紹介します。



## 文化活動こそが街づくりの役立つ

小野 仁 議員

Q ユネスコ創造都市ネットワークへの加盟認定を機に、専門的なセクションを設置し、事業に取り組んでどうか。

A 平成30年度から文化振興課に創造都市推進係を設置し、増員して推進体制の強化を図る。新たなセクションの設置は、事業の取り組みの中で必

要性を検討していく。

Q 山形ドキュメンタリーフィルムライブラリーの機能を街なかへ移転してどうか。

A 街なかへの機能移転も含め、あるべき姿を検討する必要があります。収蔵庫などの課題もあるため、調査研究していく。

Q ユネスコ創造都市として、

### 質問者

### 質問の要旨

小野 仁  
(緑 政 会)

附帯決議、重粒子線がん治療施設、ユネスコ創造都市ネットワーク、外国人起業家への創業支援、条例、体育施設 ほか

田中 英子  
(翔 政 会)

高齢者の交通手段の確保、街なか観光施策、子ども受動喫煙対策、手話言語条例の制定 ほか

松田 孝男  
(公明党山形市議団)

国保による特定健診の向上等、公共交通機関の充実、SNS相談窓口の設置、学習用タブレット活用 ほか

須貝 太郎  
(翔 政 会)

「不安な個人、立ちすくむ国家」経済産業省の若手官僚たちがまとめた報告書、少子化問題、教育問題 ほか

齋藤 武弘  
(翔 政 会)

豪雪への対応、宅地造成の支援、公設地方卸売市場の指定管理者制度の導入、山形市都市計画道路の整備、農業の今後 ほか

佐藤亜希子  
(日本共産党山形市議団)

子育てを支えるために、重い国保税の軽減を求める

伊藤美代子  
(市民連合山形市議団)

市民に寄り添った市政を、ヤングケアラーのことは知って、介護現場の過重労働対策に自動寝返り支援ベッド導入支援を ほか

佐藤 秀明  
(市民連合山形市議団)

ユネスコ創造都市ネットワーク加盟を受けて、所有者不明土地と空き家対策、環境政策、吉林市との交流、福祉政策 ほか

国立映画アーカイブの誘致を国に働きかけてはどうか。

A 誘致の条件が整った場合は、推進すべきと考えている。現在、地方都市への移転の情報はないが、情報収集や関係者との意見交換を進めていく。

ているのか。

A 発展計画を強力に推進するよう編成し、執行についても同様の考えである。今後、丁寧な説明を行いながら、発展計画の実現を目指していく。

Q 29年度の一般会計予算に対する附帯決議の内容を、30年度当初予算にはどう反映し

Q 山大医学部と、重粒子線がん治療事業に関する情報の共有は図られているのか。共有されていない場合、寄附は



▲街なか観光の一角を担う清風荘



田中 英子 議員

## 高齢者の交通手段の確保を図れ



▲映像文化をキーワードに地域活性化を

Q 運転免許証返納者をはじめ、70歳以上の希望者にバスのシルバー3カ月定期券購入補助を行っているが、市内全体的に高齢者の交通手段を確保するため、タクシー券も選択できるようにしてはどうか。

A 平成30年度から、70歳以上の運転免許証返納者に対し、シルバー定期券とタクシー券を選択できるようにするほか、路線バスの再編やコミュニティバスの導入、住民主体の自主運行など、地域の実情に合った交通手段を住民と共に研究していく。

認められるのか。

A 診療開始スケジュールや診療開始後の収支見込みなど、適宜、状況を聞いています。市民の身近な所で最先端の医療環境が整うことなどから、支援は意義があると考えています。

Q 市有施設に歩行誘導マップを設置し、視覚障がい者をサポートしてはどうか。

Q 清風荘の宝紅庵茶室内は経年劣化による汚れが目立ってきていることから、改修すべきと考えるがどうか。また、32台分の駐車場では十分とは言えないため、駐車場の増設も併せて検討してはどうか。

A 清風荘の宝紅庵は、茶室内の経年劣化も徐々に進行しているため、茶室設計者の助言を得ながら、修繕計画の策定や整備スケジュールを含めて検討していく。紅葉シーズンは、臨時駐車場として山形大学職員駐車場を借用し、警備員による周辺道路の誘導も行っている。また、停留所が近くにできたベニちゃんバスの活用なども促進しながら、適切な駐車場用地の情報収集にも努めていく。

Q 計画的な取り組みの中で、導入を検討していく。

Q 高齢者の犬や猫の多頭飼育崩壊の問題が全国的に増えている。福祉部門との連携を図られるような動物愛護条例を制定すべきではないか。

A 30年度に制定を予定しており、有識者の意見や実態を踏まえながら検討していく。

Q 子どもの受動喫煙防止対策は喫緊の課題である。本市でも受動喫煙防止対策検討委員会を設置し、対策を講じてはどうか。

A 29年度に健康づくり計画「山形市健康づくり21」の間評価を行い、市民の健康の実態に基づいた対策として、受動喫煙防止対策を新たな推進項目として進めていく考えをまとめたところである。また、受動喫煙防止対策に関する組織の設置は、今後、法の趣旨を踏まえた上で、総合的な受動喫煙防止対策の中で検討していく。

Q 35年度までに撤去予定の県体育館の代替施設や、多くの利用者への対応はどうか。

A 多くの利用者を他の体育施設で受け入れることは困難なため、市内へ新たな代替施設の整備を県と協議し、方向性を検討していく。

Q 教育委員会が主体となり、小・中学生を対象にした子ども

Q 本市には聴覚障がい高齢者用の養護老人ホームがなく、手話通訳者の配置などもないため、スタッフとの対話は筆談となり、不便なこともある。

A 多様なコミュニケーション手段を確保するため、手話通訳者、要約筆記者を派遣するとともに、手話奉仕員養成研修事業にも取り組んでいる。また、筆談のみでは十分なコミュニケーションが保たれないなどの相談があれば、県と連携して事業者への働き掛けを行うとともに、聴覚障がい者団体などと協議しながら、施設に入所している聴覚障がい者への支援も検討していく。手話言語条例の制定は、手話の普及の観点から、引き続き調査研究していく。

も議会を開催してはどうか。

A 効果や実施する場合の課題などを整理し、検討していく。

Q 村山広域水道の受水費が下がることに伴い、水道料金を見直す考えはあるのか。

A 30年度に予定している水道料金体系の見直しの中で、総合的に検討していく。



## 健康長寿のまち・子どもも大人も 安心して暮らせる山形に

松田 孝男 議員

**Q** 保険者努力支援制度による医療費適正化に向けてどう取り組むのか。

**A** 加点の高い糖尿病等重症化予防事業に新たに取り組むとともに、その他の指標についても財政支援が得られるよう、積極的に取り組んでいく。

**Q** 県内で低い水準となっている特定健診の受診率をどのように捉えているのか。

**A** 健康寿命延伸に繋がるため、今後もきめ細かい受診勧奨事業の実施に努めていく。



▲くるりんバスのさらなる利用促進を

**Q** 子どもの医療費助成に係



## 子どもや教育に 最優先で成長投資

須貝 太郎 議員

**Q** 平成29年5月に経済産業省の次官・若手プロジェクトがまとめた報告書「不安な個人、立ちすくむ国家」は、国

家の将来を憂う官僚としての熱い思いが伝わるものとなっている。この報告書に対し、市長はどのような感想をもっているか。

る国保の国庫負担金の減額調整措置の廃止に伴い生じる財源は、少子化対策に充てるべきではないか。

**A** 国保事業会計の中で有効に活用していく。

**Q** 健康寿命を延ばすため、公園などに健康遊具を設置してはどうか。

**A** 公園整備や老朽化した遊具を更新する際には、地域住民や公園利用者の意見を参考に、健康遊具の設置など、健康寿命を延ばせるような環境づくりを進めていく。

**Q** 高齢者の運転免許証の自主返納を促すため、運転経歴証明書の交付手数料に対し、助成してはどうか。

**A** 警察や関係機関などと情報交換をしながら、自主返納

**A** 国民一人一人が、また、企業やNPOをはじめとした各種組織が行う課題解決へのチャレンジや実践の積み重ねがまず先にあり、それに合致した制度改正や、そうした動きを奨励するような政策展開が求められるケースが増えることを考えている。

**Q** 子どもや教育への投資を

しやすい環境づくりに向けて調査研究していく。

**Q** 公共交通の充実のため、仮称南北くるりんバスの整備や、東西くるりんバス路線の延伸拡充を図ってはどうか。

**A** 路線バスの再編やコミュニティバスの導入、住民主体の自主運行など、地域の実情に合った交通手段を住民と共に研究していく。

**Q** くるりんバスの利用を促進するため、通勤や通学の定期券を導入してはどうか。

**A** 定期券を含む各種乗車券がより利便性の高いものとなるよう、東北運輸局や交通事業者と継続して研究しながら協議していく。

**Q** 子ども達が相談しやすい

財政の最優先課題にすべきという提言はとても重要であると考えるがどうか。

**A** 高齢化社会への対応や少子化対策のため、今まで以上に家族政策の充実やコミュニティ支援の充実することが必要である。今後も時代に合わせた効果的な家族政策を研究していく。

よう、電話やメールによる相談に加え、SNSによる相談窓口を設置してはどうか。

**A** 現在のメールや電話による相談活動の周知に努めるとともに、既にSNSを活用した相談窓口を設置している自治体の状況を研究していく。

**Q** 不登校の児童生徒に、自宅学習としてタブレットを貸し出してはどうか。

**A** 先行して実施している自治体の取り組みなどを調査研究していく。

**Q** 小・中学校の授業の一環として、認知症サポーター養成講座を実施してはどうか。

**A** 学校の実情に応じて取り入れることができるよう、さまざまな講座の事例や講師の情報を提供していく。

**Q** 富山市では、イタリアの大学との共同研究で、エゴマ油とオリーブオイルの最適配合によるブレンドオイルの開発に取り組んでいる。地方都市による発想は都市間競争を勝ち抜く上でとても重要で、これからの政策展開に必要なと思うがどうか。

**A** 若手職員自らが問題意識を持って市民ニーズの把握や

※1 保険者努力支援制度…ジェネリック医薬品の推進や生活習慣病の予防に取り組むなど、医療費を抑制する自治体に対する支援制度。





▲年々拡大している鳥獣被害

Q 鳥獣被害対策実施隊がパトロールをする際は、猟銃を持って行うべきではないか。

A 鳥獣被害対策実施隊は、中山間地域と、それ以外の地域に分けただけでは対応が難しい。農業戦略本部で地域の特性や産物を生かし、より具体的な施策を展開していく。

Q 鳥獣被害対策実施隊がパトロールをする際は、猟銃を持って行うべきではないか。

A 現状でも担当職員は可能な限り直接現場に足を運ぶように努めている。山形市農業振興公社の活用を含め、市職員が現地に行ける体制づくり

Q 鳥獣被害対策実施隊がパトロールをする際は、猟銃を持って行うべきではないか。

A 現状でも担当職員は可能な限り直接現場に足を運ぶように努めている。山形市農業振興公社の活用を含め、市職員が現地に行ける体制づくり

Q 鳥獣被害対策実施隊がパトロールをする際は、猟銃を持って行うべきではないか。

A 現状でも担当職員は可能な限り直接現場に足を運ぶように努めている。山形市農業振興公社の活用を含め、市職員が現地に行ける体制づくり



齋藤 武弘 議員

### 地域の特性を生かしたより具体的な農業振興策を

Q 第6次農業振興基本計画では、広いエリアを中山間地域としており、明確な対策が見えにくい。東西南北の平坦地と東西南の中山間地域に分け、より具体的な営農計画を立てるべきではないか。

A 中山間地域の振興は、中山間地域と、それ以外の地域に分けただけでは対応が難しい。農業戦略本部で地域の特性や産物を生かし、より具体的な施策を展開していく。

Q 第6次産業化などが進み、農業関連の業務が多岐に渡り、事務が煩雑化している。農業関連イベントは山形市農業振興公社が中心に実施し、市職員がもっと現場で現状に触れるなど、農業振興施策に深く関わられるようにしてはどうか。

A 現状でも担当職員は可能な限り直接現場に足を運ぶように努めている。山形市農業振興公社の活用を含め、市職員が現地に行ける体制づくり



▲エゴマ油を使ったブレンドオイルの開発

Q 医学界や教育界、企業人を巻き込み、20〜30年後の出生率向上に向けて、自然発生のな少子化対策の醸成に、専門的に取り組むプロジェクトチームを設置してはどうか。

A 山形市発展計画に掲げる現在の施策を履行した上で、プロジェクトチーム設置の必要性を検討していく。

Q 国は、公共事業などの障害となっていた所有者不明土

地の利用を可能とする法案を提出する方針だが、本市ではどのように準備を進め、問題解決につなげていくのか。

Q 教員の資質向上や学校間連携の円滑な推進とノウハウの共有など、さまざまなメリットが考えられる校種間人事交流の提案に対するその後の進行状況はどうか。

A 校種間の人事交流には大きなメリットがあり、今後も県に要望していく。また、中学校区における小中連携の活性化や特別支援学校の教員を含めた研修の実施などで、お互いの専門性の向上を図っていく。

Q 国が検討している新たな法制度を積極的に活用していく。また、相続登記未了のため所有者が特定できないものは、これまで行ってきた相続人調査をさらに徹底し、所有者の特定に努めていく。

受託者の判断で除雪をしており、出動基準を見直す予定はないが、平成29年度から滝山・明治・楯山地区の一部も自主判断区域に追加しており、さらなる区域拡大の必要性を今後も検討していく。

Q 早い段階で豪雪対策本部が設置できるよう、現行1カ所の積雪量の観測地を増やしてはどうか。

A 降雪量は標高などにより異なるため、観測地を増やすことも含めて調査研究していく。

Q 一斉除雪の出動基準となる観測地を増やしてはどうか。また、自主判断除雪区域の対象を広げ、さらに出動基準を5〜7cmまで引き下げてはどうか。

A 現在10地点で積雪量などの観測を行っているが、より詳細な状況把握のため観測地の増設や位置の変更を検討していく。また、山間部などは自主判断区域に設定し、業務

Q 都市計画道路は、明確な完成時期を設定し、集中的に整備してはどうか。また、主要地方道山形山寺線から楯山駅への整備の見直しはどうか。

A 他事業の進行状況や用地確保の都合上、明確な完成時期の設定は困難だが、事業着手の優先順位を国や県と協議しながら計画的に進めていく。また、都市計画道路楯山停車場天童線や主要地方道山形山寺線などの進行状況や、完成後の交通状況などを勘案し検討していく。



## 子どもをエン<sup>※1</sup>パワメントする 山形らしい豊かな保育を

佐藤亜希子 議員



▲工夫して炊飯している保育所の給食室

**Q** 保育需要と安全面から拠点保育所の整備計画を前倒ししてはどうか。また、平成30年度から保育指針が変わり、子どもへの評価項目が細かく定められる。指針を押しつけず、子どもをエンパワメントする山形らしい保育を発信してほしいがどうか。

**A** 各拠点保育所は、2年程度の期間において整備する計画としている。各園で毎年園の目標と年間指導計画を策定し、保育理念の実現に向けて取り組んでおり、今後も質の高い保育を提供できるよう努力していく。

**Q** 市立保育所の正規職員の割合を高めてはどうか。  
**A** 民間立保育所の人材確保への影響など、さまざまな点を勘案しながら検討していく。

**Q** 市立保育所の3歳児以上に主食を提供し、民間立保育所などには、主食代を補助してはどうか。また、主食代を公定価格に加算するよう国に要望してはどうか。  
**A** 調理室が狭く、衛生的にごはんを提供できる環境が整っていないと考えている。主食代の補助は、保護者と事業者の意見を聞きながら検討していく。公定価格への加算は機会を捉えて国に要望していく。

**Q** パパママ応援元氣すくすくネットをスマートフォン対応にする。  
**A** 把握をした上で、県教育委員会と連携しながら、夜間中学などの設置の必要性を検討していく。

応とすることで、病児・休日保育、産後ケアなどの緊急時に必要な情報へアクセスしやすくしてはどうか。  
**A** 検索性の向上や、スマートフォンへの対応を検討していく。

**Q** 国の子ども・子育て支援整備交付金制度を利用し、公設民営の放課後児童クラブを新設してはどうか。  
**A** 交付金を活用し、クラブを学校施設に入れるなど、公設民営の形で実施している。今後も、学校の事情に応じたクラブの整備を進めていく。

**Q** 小学校の入学準備金の入学前支給を実施する予定はあるのか。実施する場合、2月支給してほしいがどうか。  
**A** 中学校の入学前支給は、

31年度に入学予定の就学援助を受けている小学6年生を対象に、平成31年2月に支給する方向である。小学校の入学前支給は、既に実施している他市町の状況などをさらに調査研究していく。

**Q** 負担が大きい国保税を引き下げるべきではないか。  
**A** 財政支援のさらなる拡大を国に求めながら、ジェネリック医薬品の利用促進などの取り組みを強化することで国からの支援を確保し、加入者の負担軽減に努めていく。

**Q** 子育て支援の観点から、国保税の子どもに係る均等割を軽減すべきと思うがどうか。  
**A** 他市の事例を参考に調査していく。また、全国市長会を通じて要望していく。



## 公立夜間中学の 設置計画を求める

伊藤美代子 議員

する考えはあるのか。

**A** 学び直しに必要な支援を探るため、また、方向性を検討するためにも実態把握が大切であると捉えている。実態

**Q** 公立の夜間中学をつくる計画はないのか。また、中学段階の学び直しをしたい人がどの程度いるのか実態を把握

**Q** 斎場の2階待合室を椅子席にしてほしいと望む声が多い。改修の見通しはあるのか。  
**A** 建物の構造上の制限や改修時の使用制限などの課題もあり、テーブル席の設置や段

把握をした上で、県教育委員会と連携しながら、夜間中学などの設置の必要性を検討していく。

差の解消などの対応が、どの程度可能か現在検討している。

**Q** 親や家族を介護しているヤングケアラーの実態をどのように把握しているのか。  
**A** 福祉まるごと相談窓口で、

現在、この傾向にある児童生徒が4人いることを確認している。今後も、各学校への周知や実態調査に努めていく。

**Q** ヤングケアラーが児童生徒の場合、学校と行政が一体となった支援策が必要と考えるがどうか。  
**A** 個々の子どもに対する支援は、学校と関係機関で情報共有を図りながら、必要に応じてケース会議を開いて対応している。ヤングケアラーの問題も同様の対応で解決することが望ましいと考えており、

31年度に入学予定の就学援助を受けている小学6年生を対象に、平成31年2月に支給する方向である。小学校の入学前支給は、既に実施している他市町の状況などをさらに調査研究していく。

※1 エンパワメント…人が持っている力を引き出し、湧き出させること。個人や集団の潜在能力を発揮させる考え方。  
※2 国保税…国民健康保険税。  
※3 ヤングケアラー…病気や障がいなどを持つ両親や祖父母などの家族の介護を行っている10代から20代の若い人達。



▲文化的拠点施設として期待されるまなび館



佐藤 秀明 議員

## 芸術文化創造都市を創ろう



▲福島市や仙台市で月4回行われている夜間中学

- 今後、学校と行政が一体となった支援を継続していく。
- Q** 介護施設利用者の安心や職員の負担軽減につなげるためにも、自動寝返り支援ベッドを導入する施設に対し、支援してはどうか。
- A** 自動寝返り支援ベッドの効果については、介護人材の確保に向けた協議会で意見を聞くとともに、国や県にも問い合わせながら、支援のあり方を調査検討していく。
- Q** 平成29年度の一般質問でLGBTへの取り組みなどについて質問をしたが、その後の取り組み状況はどうか。
- A** 情報提供や理解促進に努めており、今後も具体的な窓口対応のガイドブックを作成するなど、性の多様性に関する理解が深まるよう取り組んでいく。
- Q** LGBTを正しく理解するためにも、ダイバーシティ講座を開催してはどうか。
- A** 現在のところ、性的マイノリティやダイバーシティに特化した講座などは実施していないが、今後、学びの機会
- Q** 誰もが持っている性的指向と性自認を表すSOGIと必要だと思うがどうか。
- A** 新しい概念であり、まだ一般化されているとは言えない状況と思われる。今後の国民的議論や国の動向などの推移を注視していく。
- Q** 提供を検討していく。
- Q** 相続後の未登記による所有者不明の土地が問題となっている。国の制度変更に伴い、積極的な問題解決に当たるべきではないか。
- A** 新たな法制度を積極的に活用し、所有者の特定に努めていく。
- Q** つるおかランド・バンクが行っている小規模連鎖型区画編成などを参考に、空き家の解消に取り組んではどうか。
- A** つるおかランド・バンクも参考にしながら、各業界と協力して事業を推進していく。
- Q** 市地球温暖化対策実行計画で設定した、温室効果ガス1人当たりの排出量80%の削減目標は、達成が可能なのか。また、循環型社会の構築に向けて、再生可能エネルギー基本条例を制定してはどうか。
- A** 国・県よりも目標は高いが、きめ細かい施策で意識高揚を図っていく。また、条例の制定は考えていないが、再生可能エネルギーの活用方針や基本理念の理解をもちうことは重要であると考えている。
- Q** 滝山地区の国道13号線東側には、スーパーや銀行がなく、高齢者などが不便を感じている。都市計画マスタープランでは、このエリアに地域の拠点を作るというがどうか。
- A** 平成31年に予定している滝山地区の都市計画地域別構想の策定を、地域の方と共に進めていく。
- Q** 平成30年度に、経済訪問団の来訪が予定されている友好都市の吉林市と、ウィンタースポーツを通じた交流を深めてはどうか。
- A** 交流人口の拡大に向けて両市で協議していく。
- Q** ハローワークと連携した就職相談窓口を本庁や社会福祉協議会に設置してはどうか。
- A** 相談窓口の設置は、対象者の利便性向上などから効果的であると考えられるため、関係機関と検討していく。
- Q** 中核市移行に伴う連携中核都市圏形成の範囲や連携分野はどう考えているのか。
- A** 現在、定住自立圏を形成している3市2町と協議の上、他の3市4町と協議したいと考えている。
- Q** 山形交響楽団にジュニアオーケストラを編成してはどうか。
- Q** 市地球温暖化対策実行計画で設定した、温室効果ガス

※1 LGBT…女性同性愛者、男性同性愛者、両性愛者、性別越境者の英語の頭文字をとった総称。  
 ※2 ダイバーシティ…多様な人材を積極的に活用しようという考え方。  
 ※3 SOGI…Sexual Orientation and Gender Identityの略称。性的指向と性自認を表すもの。  
 ※4 アーツ千代田3331…東京都千代田区にある、閉校した中学校の校舎を改修して開設した文化芸術施設。

# みちしるべが授業で活用されました！

山形市立大曾根小学校6年生の社会科の授業で、やまがた市議会報「みちしるべ」が活用されました。

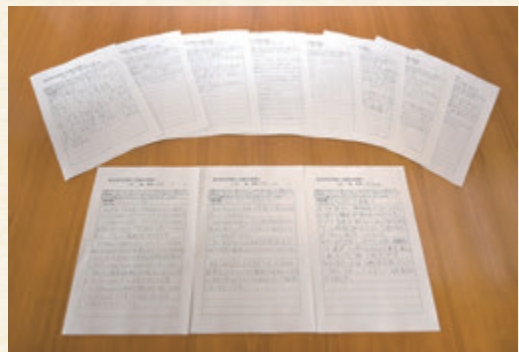
議会報を使用した「わたしたちの生活と政治」の授業では、議会で話し合われている内容や議員の思いなどについて勉強することができ、新たな見方や考え方を持つきっかけとなる学習ができたとのことでした。

また、児童の皆さんから、学習の振り返りとして作成した活動の記録を送っていただきました。その学習の記録では、「税金がどんなことに使われているか詳しく知ることができて良かった」「市民の要望を実現するために話し合いをすることは、とても大切だと感じた」「政治に興味はあったけど、なかなか調べる機会がなく、みちしるべで山形市の政治を学べて嬉しかった」などの感想をいただきました。

今後も、よりわかりやすく、親しんでもらえる議会報の作成に努めてまいります。大曾根小学校6年生の皆さん、ありがとうございました。



▲今号のみちしるべの表紙を飾っていただきました



▲児童の皆さんからいただいた活動の記録

## みみより情報

### 上山市

#### やまがたワインバル2018 inかみのやま温泉

**とき** 7月7日(土)  
**ところ** 上山城周辺  
**内容** 県内外のワイナリーが一堂に会する大イベント。心地よい香りと豊かな味わいが自慢の“かみのやま産のワイン”やワインに合うさまざまなフードをお楽しみいただけます。

**問い合わせ先** 上山市観光物産協会  
☎672-0839

### 山辺町

#### ラベンダー祭り

**とき** 6月中旬～7月中旬  
**ところ** 山辺町玉虫沼農村公園「かおりの広場」  
**内容** 約3000株のラベンダーや多彩な花々が咲き誇ります。期間中は、ご当地ソフトクリーム、かき氷などの販売やラベンダーなどを使った体験教室が開催されます。

**問い合わせ先** 玉虫沼農村公園管理棟  
☎666-2701

### 中山町

#### 浴衣で図書館・怪談ナイト

**とき** 7月28日(土) 午後5時から  
**ところ** 中山町立図書館 ほんわ館  
**内容** 怪談ばなし、ブックカフェ、浴衣着付けのお手伝い  
当日はどなたでも参加できます。  
※詳細は、7月上旬に中山町公式ホームページに掲載します。

**問い合わせ先** 中山町立図書館ほんわ館  
☎662-6688

平成30年2月13日の本市議会議員対象の研修会で、三重県地方自治研究センターの高沖秀宣氏から、「国会と違い首長との「二元代表制」を採っている地方議会に与党・野党の区別は無い。自治体意思の決定機関として「二元代表制」を追求することが議会改革になる。政策提言できる議会へと取り組んでいってほしい」と、ご講演いただき、地方議会の基本を再確認させていただきました。

31年4月からの中核市への移行の準備年度である平成30年度の当初予算が成立しましたが、今後も「みちしるべ」をはじめとする情報発信と、市民の皆さまとの意見交流に努めてまいります。

議会報委員 高橋 昭弘

## 編集後記

### スマホで視聴できます

スマートフォン・タブレットで議会が視聴できます。  
お気軽にご活用ください。



### ウェブサイト

山形市議会 中継 で 検索

【お詫びと訂正】 やまがた市議会報みちしるべ第203号（平成30年2月1発行）の7ページ「中核市移行検討特別委員会」の掲載内容に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。  
誤「食肉衛生検査施設は」→ 正「食肉衛生検査施設などでは」